

ELB-02K組立説明書



安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
 お子様のご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
 お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

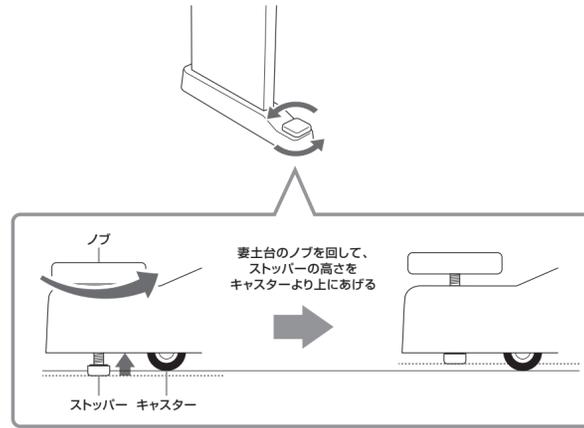
	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」していただきたいという強制を示します。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本体	イス
<p> 必ず実行 本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに正しく組み立てると、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。</p> <p> 必ず実行 硬くて平らな場所で組み立ててください。</p> <p> 必ず実行 部品をまちがえたり、向きをまちがえたりしないように注意して、手順どおりに組み立ててください。</p> <p> 必ず実行 組み立ては、必ず2人以上で行ってください。</p> <p> 禁止 ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。</p> <p> 必ず実行 ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。</p> <p> 必ず実行 解体するときは、組み立てと逆の手順で行ってください。</p>	<p> 禁止 不安定な場所に置かない。イスが転倒して、お客様やほかの方々へのけがをする原因になります。</p> <p> 禁止 イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。</p> <p> 禁止 イスには二人以上ですわらない。イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。</p> <p> 禁止 イスにすわったままでイスの高さを調節しない。高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がけがをしたりする原因になります。</p> <p> 必ず実行 小さなお子様の後方への転倒に注意する。背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。</p>

ネジのサイズに合ったプラス(+)のドライバーを用意してください。

3. ノブを回して、ストッパーをキャスターより上にあげます。
 左右の妻土台でそれぞれノブを回して、ストッパーをキャスターより上にあげます。ストッパーは本体の滑り止めです。ここでは床の傷防止のためストッパーを上にあげておき、設置場所が決まったら、あとの手順でストッパーが効くように調節します。



注記
 ストッパーがキャスターより下にさがった状態で、側板や本体を移動させると床に傷が付きまますのでご注意ください。

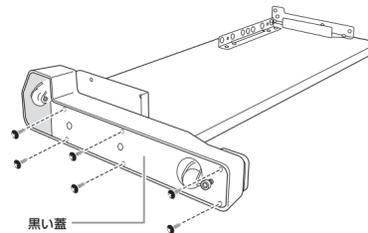
本体の高さを変更しない場合は手順 5へお進みください。

本体の高さを変更する場合

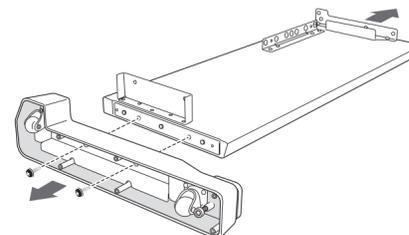
4. 必要に応じて、本体の高さを調節します。
 本体は高さを 2段階(高/低)で調節できます。工場出荷時は高い状態で設定されていますので、必要に応じて低くできます(約5cm低くなります)。

手順4で外したネジはあとの手順で使用しますので、捨てずにとっておいてください。

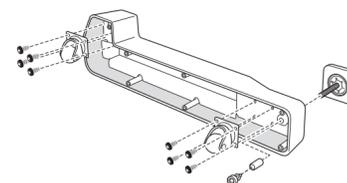
4-1. 左右の妻土台からそれぞれネジを6本外して、黒い蓋を取り外します。



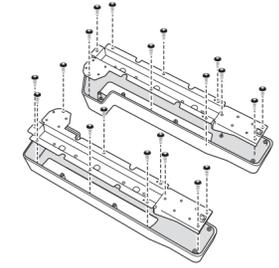
4-2. 左右の妻土台からそれぞれネジを2本外して、側板を取り外します。



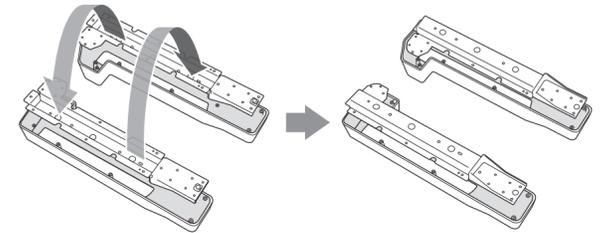
4-3. 左右の妻土台からそれぞれ9本ネジを外して、ノブ、ストッパー、キャスター2つを取り外します。



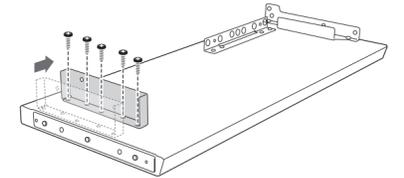
4-4. 左右の妻土台からそれぞれネジを10本外し、黒の金具を取り出します。



4-5. 取り出した黒の金具を、天地を逆にして、左右を入れ替えて、妻土台の中に入れます。
 黒の金具の凹凸が逆になり、あとの手順で側板がより深く差し込めるようになります。



4-6. 左右の側板のネジを外し、金具を上へ移動させて、金具の穴位置を側板にあいている下穴位置に合わせて、ネジで確実に固定します。



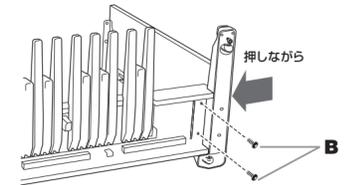
4-7. 手順4-4から4-1まで逆にとり、各手順で外したネジを使って、取り外した部品を順番に確実に固定します。
 黒の金具、ノブ、ストッパー、キャスター2つ、側板、黒い蓋の順番です。

5. ペダル鍵盤ユニットに左右の側板を取り付けます。
 側板の左右を間違えないようご注意ください。

5-1. ペダルコードを固定している3箇所(3箇所)のビニールひもを外します。

5-2. ペダル鍵盤ユニットの鍵盤側を上します。

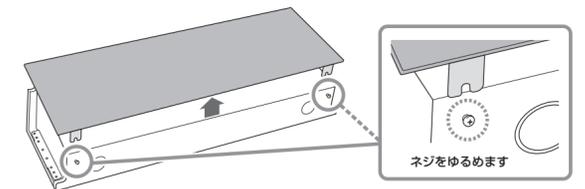
5-3. 図のようにペダル鍵盤ユニットと側板の位置を合わせて、ネジB(4本)を使って固定します。



5-4. 固定できたら、側板とペダル鍵盤ユニットを起こします。

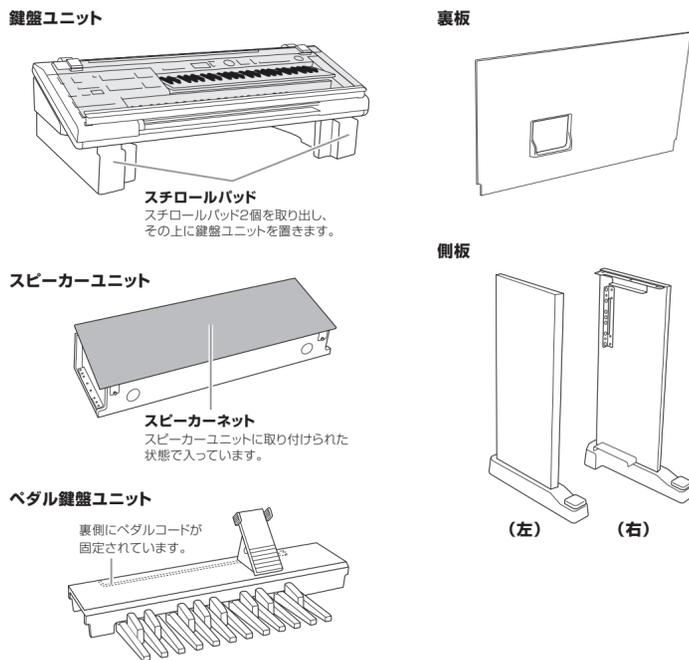
6. スピーカーユニットを側板に取り付けます。

6-1. スピーカーユニット下部のネジをゆるめて、スライドさせてスピーカーネットを外します。



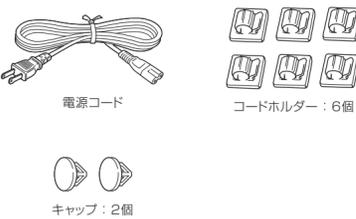
1. 箱を開けて、両サイドのスチロールパッド2個を取り出し、その上に鍵盤ユニットを置きます。

2. すべての部品を取り出します。
 最初に、部品がすべてそろっていることをご確認ください。
 スピーカーユニットを取り出すときは、スピーカーネットを持たずに、スピーカーユニット本体を持つようにしてください。



ネジセット

A	B
5×16mm : 4本	5×12mm : 8本
C	D
4×20mm : 4本	4×12mm : 2本

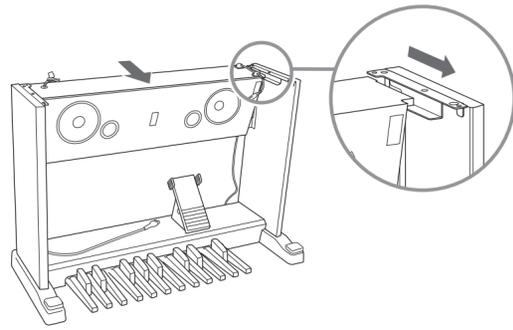


ヘッドホンハンガーセット

	E
ヘッドホンハンガー : 1個	4×10mm : 2本

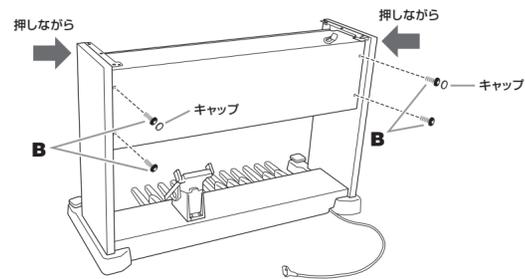
* あらかじめ鍵盤ユニットにキーカバーが、側板にキャスターとストッパーがそれぞれ取り付けられています。

- 6-2. 2人でスピーカーユニットを水平に持ったまま、背面から、図のように側板上部のガイドレールに沿ってスライドさせます。(止まるまで押し込みます。)



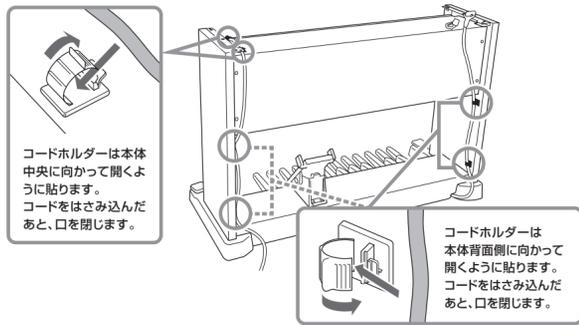
注意
指をはさんだり、スピーカーユニットを落としたりしないようご注意ください。

- 6-3. 側板をスピーカーユニットに押しつけながら(側板とスピーカーユニットの間にすき間が生じないようにして)、背面から、ネジB(4本)を使って図のように固定します。キャップをネジ穴に取り付けます。



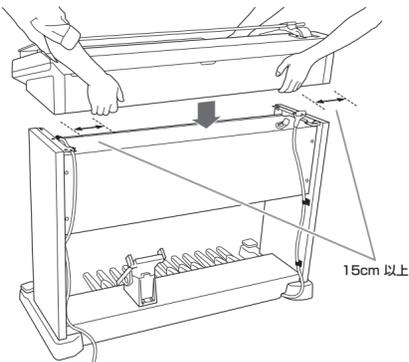
7. コードホルダー6個を図のように貼り付け、電源コード、ペダル鍵盤コードを固定します。

電源コードの向きは、本体正面にコネクタ、本体背面側に電源プラグがかかるようにしてください。



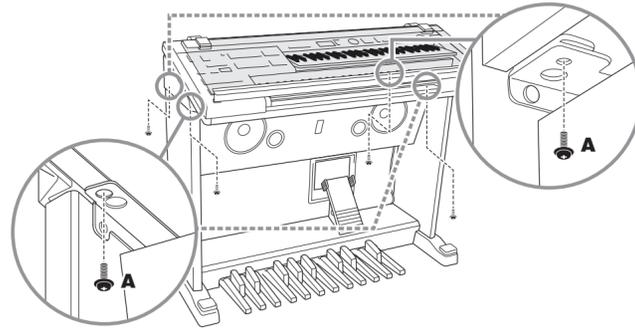
8. 鍵盤ユニットを取り付けます。

- 8-1. 図のように2人で鍵盤ユニットを持ち、鍵盤ユニットを載せます。必ず本体底面の端から15cm以上内側を持って載せてください。

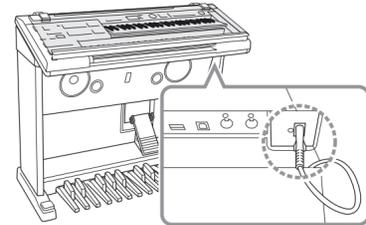


注意
指をはさんだり、鍵盤ユニットを落としたりしないようご注意ください。

- 8-2. ネジA(4本)を使って鍵盤ユニットを固定します。

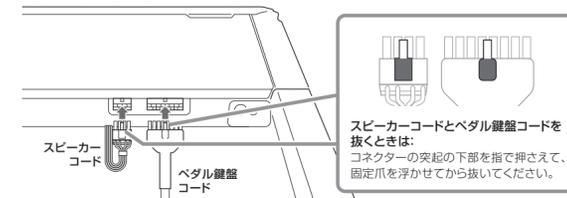


9. 電源コネクタを、鍵盤ユニット底面のAC IN端子に接続します。

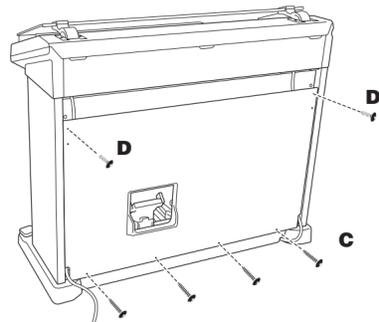


10. ペダル鍵盤コードとスピーカーコードを鍵盤ユニットに接続します。

コネクタのラミネートを外しておきます。ペダル鍵盤コードとスピーカーコードのコネクタの突起があるほうを背面側にし、鍵盤ユニット側のそれぞれのソケットにしっかりと差し込みます。しっかり差し込むと、突起上部の固定爪がかり、下に軽く引っ張っても抜けなくなります。しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。

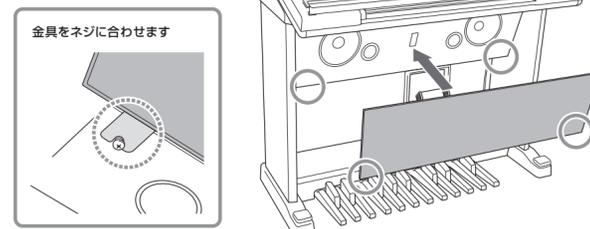


11. 裏板を、ネジC(4本)とネジD(2本)で取り付けます。

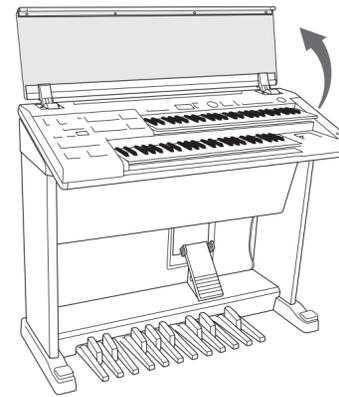


12. スピーカーネットをスピーカーに取り付けます。

手順6-1でゆるめたネジに、スピーカーネットの金具を合わせて、ネジを締めます。

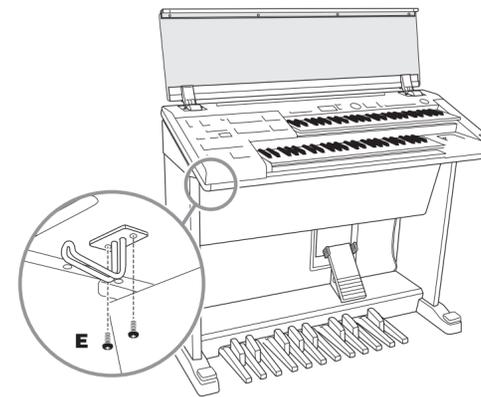


13. キーカバーを起こすと、譜面板として使えます。



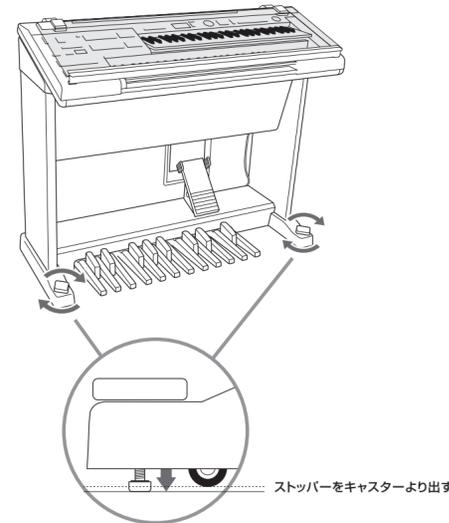
14. ヘッドフォンハンガーを取り付けます。

ヘッドフォンハンガーはネジE(2本)を使って固定します。



15. エレクトーンの電源を入れ、音が出る(正しく接続されたこと)を確認します。

16. 設置場所が決まったら、ストッパーを効かせて本体が滑らないようにします。左右の妻土台でそれぞれノブを回して、ストッパーがキャスターより出るようにします。



注記
ストッパーがキャスターより下にさがった状態で、側板や本体を移動させると床に傷が付きまますのでご注意ください。



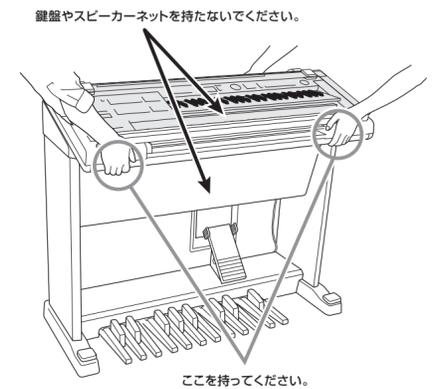
イスの高さを調整する
フットレスト(足置き)が付いているほうが正面です。ノブを回してイスの高さを調整します。

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか?
→ 組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどが楽器にあたりませんか?
→ 楽器を移動してください。
- 楽器がぐらぐらしませんか?
→ ネジを確実に締めてください。
- 楽器の電源は入りますか?
→ 電源コードが確実に本体に差し込まれているかどうか確認してください。
- 楽器の音は出ますか?
→ 音の出し方は取扱説明書の「電源を入れる/切る」をご覧ください。スピーカーコードやペダル鍵盤コードが確実に本体に差し込まれているかどうか確認してください。

本体を移動するときは

注意
必ず本体の底面を持ってください。鍵盤やスピーカーネットは持たないようご注意ください。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



■ 引っ越し時の運搬方法

通常の荷物と一緒に運べます。組み立てた状態でも、組み立て前の部品に解体した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。

注意
使用中に本体がきしむ、横ゆれる、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。